

観光ファンドに10億円

クールジャパン機構 瀬戸内を活性化

官民ファンドのクールジャパン機構は広島銀行など地方銀行7行と日本政策投資銀行が4月に設立する観光活性化ファンドに資本参加する。出資額は10億円で、同機構と政府は外国人旅行客の急増を受けて、観光関連の投資を加速する考え。安倍晋三首相は「官民ファンドなどを活用して2020年までに全国100カ所でプロジェクトを実施する」としている。

投資案件	投資額	地域
観光ファンドに出資	10億円	瀬戸内 周辺7県
日本企業専門のショッピングモール	110億円	中国・寧波
日本アニメの海外配信	10億円	全世界
日本食のフードコート	7億円	シンガポール
長崎発の日本茶カフェ	3億円	米 国
日本文化を紹介するテレビチャンネル	44億円	全世界

今回のファンドは、クールジャパン機構と他の8行が約10億円ずつ総額90億円を拠出して、4月に設立する。事業会社などからも出資を募り、最終的には100億円規模にしたい考えだ。投資先として想定しているのは、瀬戸内域内を

周遊するクルーズ船や水上飛行機など交通インフラや宿泊・飲食施設など。経営は投資先に任せ、配当収入を見込む。クールジャパン機構はアジアなどの日本文化を紹介する

テレビチャンネルにも出資しており、同チャンネルを瀬戸内の宿泊施設で放映して外国人へのPRの場とする。機構や参加銀行は今回のファンド設立を機に、

13年に120万人だった瀬戸内地域の観光客数を20年に3倍に引き上げることを目指す。クールジャパン機構はこれまで、日本企業の入

アニメ、ゲームといったコンテンツ輸出拠点など、もっぱら海外に投資してきた。インバウンドを通して日本文化を宣伝できるとして初の国内投資を決めた。今後も国内で同

様の案件に投資する計画だ。訪日観光客は15年に1973万人と政府が20年の目標とした2000万人を前倒しで達成する勢いで増えている。